

学力向上フロンティア事業中間報告書

都道府県名	北海道
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	浦河町立浦河小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	2	2	9	16
児童数	37	36	34	38	33	45	3	226	

研究の概要

1 研究主題

わかる・できる・考えるを目指した授業の研究

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

1～6年生 算数（子どもの理解に差が出やすい教科であるため）
 3～6年生 理科・音楽（子どもの理解や習熟の程度に差が出やすい教科、学年であるため）

(2) 年次計画

平成 14 年度	<p>テーマ 基礎・基本を身に付け、学び合う児童の育成</p> <p>仮説 ・学習指導において、多様な学習方法や学習形態を取り入れた指導を行うことにより、子どもに基礎的・基本的な内容の定着を図り学ぶ喜びを味わわせる。</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫 ・教科担任制の導入（算数での交換授業、理科・音楽での教科担任） ・TT及び少人数指導の計画、実践（3～6年 算数、習熟度別グループ学習） ・朝や放課後の補充的な学習の計画、実践（「おはよう学習」「ステップ学習」全学年）</p> <p>個に応じた指導のための教材開発 ・「ステップワーク」「のびのびカード」の作成と活用（全学年）</p>
----------------	---

平成 15 年度	<p>テーマ わかる・できる・考えるを目指した授業の研究（校内研究主題の変更のため）</p> <p>仮説 ・学習指導において、TTや習熟度別・課題別指導など、理解や習熟の程度、興味・関心に応じた指導を行うことにより、基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲を高めることができる。 （仮説2）</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫 ・教科担任による指導（3年生以上の算数・理科・音楽） ・TT及び少人数指導＜習熟度別・課題別指導＞（3年生以上の算数・理科） 1・2年算数のTT ・朝や放課後の補充的な学習の改善、実践（「おはよう学習」「ステップ学習」の継続）</p> <p>個に応じた指導のための教材開発 ・「ステップワーク」の改善、活用（ドリル・応用の「算数ステップワーク」の開発）</p> <p>評価を生かした指導の改善 ・評価規準の改善、授業における評価方法の工夫</p> <p>研究実践の普及 ・教育実践発表会の開催</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ わかる・できる・考えるを目指した授業の研究 仮説 ・学習指導において、TTや習熟度別・課題別指導など、理解や習熟の程度、興味・関心に応じた指導を行うことにより、基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲を高めることができる。 (仮説2)</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫 ・教科担任とTT及び少人数指導の改善充実(教科担任・少人数指導の定着) ・朝や放課後の補充的な学習の改善、実践(「おはよう学習」「ステップ学習」の継続)</p> <p>個に応じた指導のための教材開発 ・「算数ステップワーク」の改善と活用、「国語ステップワーク」の開発と活用</p> <p>評価を生かした指導の改善 ・指導と評価の一体化を目指した取組(評価規準を生かした授業実践)</p> <p>研究成果の普及 ・教育実践発表会の開催</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制

3年次研究の2年次では、フロンティアティーチャーを中心に、教務・研修担当者が協議し、校内研修テーマを新たに設定して、取組を進めた。

研究の推進に当たっては、校内研修において、理論学習や授業研究、評価と計画の改善を行い、共通理解を深めつつ実践研究を推進した。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

- ・児童から「勉強が好きになった」「よくわかるようになった」「自分のペースで学習できる」「発言がしやすくなった」「困ったときにすぐ相談できる」「どんどん挑戦できるから楽しい」という声が出されるなど、わかる、できる喜びや学ぶ楽しさを感じる児童が増えた。
(児童のアンケート調査では80%以上が「よかった」と回答)
- ・児童の学習意欲の向上とともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着が見られた。
(標準学力検査結果における学力値の向上)
- ・複数の教師による指導と評価により、教材研究の方法や学習状況についての理解が深まった。
- ・教科担任制や少人数指導への教師・保護者の理解が深まった。
(保護者の外部評価では80%以上が「よい」と回答)
- ・教育実践発表会を開催し、研究実践と成果を広く公開したことにより、個に応じた指導の具体化にかかわる実践を多くの学校に提供することができ、他校からの理解を深めることができた。

2 今後の課題

- ・TT及び少人数指導と評価規準に基づく指導・評価の充実
- ・習熟度別・課題別指導における支援の在り方
- ・朝や放課後の補充的な学習における指導の改善、練習・応用の「ステップワーク」の改善

学力等把握のための学校としての取組

標準学力検査の実施(年1回 5月に2年～6年で実施、実施教科:国語・算数)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1 研究実践の成果の公開・普及

- ・年間2回、他校の教員や保護者に対する校内研究授業の公開
- ・教育実践発表会の開催(H15.10.31 管内外330名参加) H16年度 9月 開催予定

2 研究成果の情報発信

- ・浦小ホームページ開設による情報発信(<http://www9.ocn.ne.jp/~urasho/>)

3 研究成果のまとめ

- ・研究紀要の発刊

チェック項目（複数チェック可）

【新規校・継続校】	1 5 年度からの新規校	1 4 年度からの継続校		
【学校規模】	6 学級以下	7 ~ 1 2 学級		
	1 3 ~ 1 8 学級以下	1 9 ~ 2 4 学級		
	2 5 学級以上			
【指導体制】	少人数指導	T . T による指導		
	一部教科担任制	その他		
【研究教科】	国語	社会	算数	理科
	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	